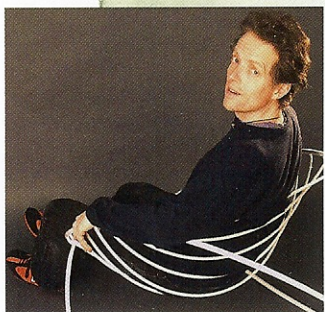


17 イタリアのAjnova社から2006年発売になった成形板の椅子“Wing”。



Henrik Sprog Thomsen

ヘンリック・ソーリグ・トムセン

プロダクトデザインで長年にわたって仕事をしてきた彼が、家具デザインを始めたのは数年前。作風を変え、自由な造形を行う。そして今回、まさに画期的なロッキングチェア(写真)をデザインし、HAYよりこの5月に発売されることに。

Philip bro Ludvigsen

フィリップ・ブロ・ルドビクセン

老舗レ・クリントからアンダーカバーシリーズを発表、大成功を収めて一躍有名になった彼だが、デザイナーとしてのキャリアは長く、さまざまなメーカーからコツコツと小品を発表してきた実力派。



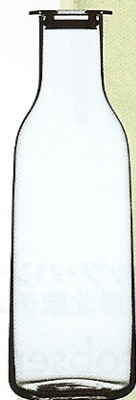
18 ジョージ・ジェンセン社より、2006年秋の新作として発売されたソルト&ペッパー。マラカスのようなかわい形状だが同社ならではの、どっしりした質感と安定性。

12

Cecilie Manz

セシリエ・マンツ

デザイナーになるべくして生まれてきたような才能の持ち主。最近ではライト・イヤーズやホルムガードなどから、シンプルだが柔らかなデザインの日常使いの秀作を次々と発表している。母は陶芸家のボデイル・マンツ。



14



15



16



15 ラウンジチェア“オーキッド”は各国で賞を取った話題作。16 クリスチャンのキャリアの出発点となったダイニングチェア。デンマークの家具の名店「バウスチャン」がオリジナルプロダクトとして販売。

10

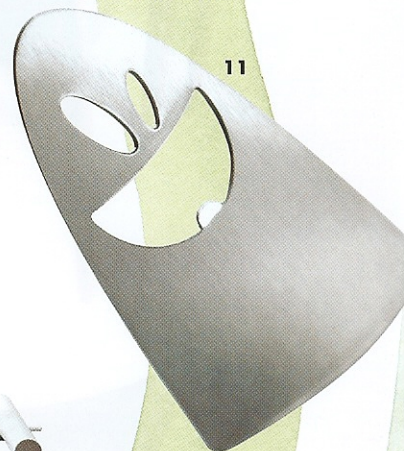


Steffen Schmelling

ステファン・シュメリング

ハードコアなインダストリアルデザインの出身だが、イタリアかフランスのデザインを想起させるユーモアの効いたテイストとダイナミックなコンセプトの持ち主。今回、B&Oの次世代デザイナーの一人に抜擢された。

10 彼がデザインのすべてを担当するキッチン&リビング用品のブランド「EGOLIVE」から、サラダボウルとサーバーのセット。11 彼を有名にした初期の作品、遊び心いっぱいのボトルオープナー。



11

Christian Flindt

クリスチャン・フリント

2006年、デンマークの最も権威あるインテリアデザイン誌『Bo Bedre』で「デザイナー・オブ・ザ・イヤー」に輝く。有機的な曲面とプラスチックを多用した未来的な造形は、すべてクレーを手削りし、1/1モデルの検討を繰り返すことで進行する。

るプロジェクトを開始したのだ。今、脚光を浴びている「若手」デザイナーの大半は、前々から独自路線で活動を続けてきた人たち。着実に力をつけてきた彼らの才能が、活発になった企業の動きと結びつき、ここへきて一気に前面に出てきたようだ。新しいデンマークのプロダクトデザインから、目が離せない。